

～14名の議員が市政を

一 般



わだ てつ はる
和田 哲 治

質 県の「農林水産研究センター」の改革（素案）が実施されるに当たり、本市の「振興センター」と、県の「研究センターおよび農学大学校」との3者連携で「日本一のブランド品」作りへの取り組みや、推進体制ができないかを問う。

答 市長 広大で県内屈指の好条件の農地を持つ豊後大野市として、この条件の下で「いかに農業経営を安定させ、魅力ある農業振興を行うか」早急にアクションを起こす対策が必要不可欠であり、安定供給のできるブランド産地化が必要であると考え

この情報を基に、農林水産研究センター、農業大学校、市の3者で会議を持ち、どのような連携が取れるのか、特に技術提供、農業後継者問題などに関する話し合いを進めております。

「特産日本一」の
ブランド品作りへ
最適で実現可能な
品目を選定

「通信網事業」の 地元優先策は

～調査・設計業務では断念～

質 通信網整備事業の「実施設計委託業務」が現在発注されているが、地元優先策がなんぞか。
答 企画部長 調査・設計業務の早急な開始を優先し、高

また、今年度発注が予定されている本事業の予算44億8000万円の発注計画を伺う。
また、工事では発注の際の仕様書に地元業者を下請けに使うようお願いする旨を盛り込みます。
特に宅内工事は、市内業者の協力なしではできないと考えており、今後とも可能な限り配慮に努めます。



農業大学校の実証ほ場（三重町）

問う～

質問

あつてはならぬ 職員の不祥事

～再発防止に全力で取り組む～



おの やす ひで
小野 泰 秀



朝地支所

質

朝地支所において、多額の公金が金庫の中に数ヶ月間保管されていたという執行部の説明は、到底納得できない。真相を明らかにしていただきたい。

答

朝地支所長

金庫の中は、確認しませんでした。当該職員は、一部の公金を自分の机の中に保管していました。

質

なぜ調査に、監査委員を入れなかったのか。

答

市長

不明金がないと判断したためです。

税込増へ チャンス到来

～ふるさと納税制度の周知を図る～

質

平成20年度は、101万円のふるさと納税の寄付があったが、その使い道は。

答

市長

中央図書館に「ふるさと文庫」を創設し、図書購入費として60万円使い、これからも、より有効な事業に活用させていただきます。

質

納税確保に、どのような広報活動をしているのか。

答

市長

市のホームページに専用サイトを設置し、本市出身者へパンフレットの配布などを行い、県や市内各団体にも働きかけ、広報活動に力を入れます。

質

市外に居住する市職員に対し、本制度の協力を求めているのか。

答

市長

市外居住職員数については全体で45人です。本年度は、現在のところ5人の職員から合計8万円の協力をいただいています。今後、協力依頼を引き続き行ってまいりたいと考えています。



声の本(CDブック)もあります。是非ご利用を。